

糸満を訪問して

網走市立第二中学校3年

やまだ

なおたろう
直太郎



私は、7月25日から28日までの4日間、網走市の中学生6人と、友好都市である神奈川県の中学生6人と共に糸満市を訪問しました。

1日目は、ガリガリーおおしろという民宿でのサーターアンダギーづくりと夕食でした。サーターアンダギーの作り方の見本を見ると簡単そうに見えましたが、実際はとても難しかったです。夕食は、タコライスやソーキなどの伝統料理で、とてもおいしかったです。

2日目は、平和学習で、平和祈念資料館やひめゆりの塔などを訪問しました。ここでは、現地の中高生の皆さんにガイドしてもらいました。沖縄戦で亡くなられた人の中で、北海道出身の方が沖縄県出身の方に次いで、2番目に多いということに驚きました。

平和祈念資料館では、戦争を経験した方からお話をお聞きしました。今でも遺骨が沖縄に残っていること、赤ん坊を連れた女性はガマ（壕）に入れてもらえなかったこと、自分と同じ年齢の学生が当然のように戦争に参加していたことなど、様々なことを教えていただきました。

僕はこのお話を聞き「戦争は得るものより失うものの方が多い。これからも戦争の無い世界であってほしい。」と思いました。

次に、資料館の展示室を見学しました。当時の服装や、新聞の記事、負傷した兵士の写真など、戦争のリアルな資料が多く展示されていました。

次に、ひめゆりの塔へ行きました。ここには大きなガマがあり、ひめゆり学徒隊が負傷者の看護活動を行っていました。隣接した、ひめゆり平和祈念館には亡くなられた学徒隊の方の遺影が並ぶ部屋があり、そこには一人一人の経歴や死因、人柄が記されていました。どんな人でも助けようとする姿勢がかっこいいなと、心から思いました。

そのほかにも、平和の礎や北霊碑などの施設を見学して、戦争と平和について学びました。

その後は、糸満市長の表敬訪問と、懇親会でのエイサー披露でした。糸満市の當銘市長さんは気さくな方で懇親会にも参加されていました。

懇親会では、沖縄ならではのアグー豚のハンバーガーやシークワサージュースなどをいただきました。そして、見たことのない量のマンゴーやパイナップルなどのフルーツがあり、北海道で買って食べるものより甘くておいしかったです。

3日目は、おきなわワールドや琉球ガラス村に行ったり、道の駅いとまんで購入物をしたり、沖縄を満喫した一日でした。おきなわワールドで、初めて鍾乳洞を見ることができ、忘れられない一日になりました。

4日目は、DMMかりゆし水族館に行きました。海水魚水槽の上のガラスを歩く体験はとても怖くて、楽しかったです。

この4日間を通して、たくさん知識を得ることができました。戦争がどれだけ辛いもので、どれだけ人々を苦しめてきたのかを知って、思ったことは、「戦争を繰り返してはいけない。自分たちが平和な未来をつくり、守っていかなければならない。」ということです。今回の沖縄訪問で学んだことを今後の人生に生かしながら、過ごしたいと思います。

最後に、この交流事業を支えてくれた、網走市の方、厚木市の方、糸満市の方、本当にありがとうございました。